

外国人材受入れ事例

株式会社コバヤシファーム
所在地：鹿沼市
従業員数：23名

とちぎ外国人材活用促進協議会

外国人の受入状況 2020年10月現在

- 特定技能1号のベトナム人4名を受入れ中（2019年12月から受入れ開始）
- 技能実習生のベトナム人9名を受入れ中（2014年2月から受入れ開始）

外国人受入れの目的・理由

- ・受入れ前は、日本人のパートタイム従業員を雇用していたが、労働時間に制約があるため、事業拡大の見通しが立たなかった。また、人手不足により、事業継続が困難であった。

外国人の採用方法

- ・技能実習生は、現地訪問又はオンラインで面接を行い採用。現地面接の際は、外国人の生活する街を訪問し、街の雰囲気を確認するようにしている。
- ・特定技能1号外国人は、自社の技能実習2号修了者から在留資格の変更を行った者や、他の企業で実習経験のある者を採用している。

受入企業の声

- ・葉物野菜は人の手で収穫する必要があり、安定して業務を行えるようになった。
- ・日本人と比べても仕事のレベルが高く、意欲も高いが、傷のある野菜の選定などにおいては、0か100かの判断をしてしまう傾向にあるため、数値化できるものが良かった方が良く思う。
- ・彼らの求める収入に満たないと、すぐに離職してしまうイメージがある。



受入れや定着を進めるにあたっての工夫

- ・従業員同士の親睦を深める目的で毎年社員旅行を企画。直近では、箱根温泉に一泊したが、母国にはない雪景色を見ることができ喜んでいて。また、誕生日は従業員全員でお祝いしている。
- ・外国人従業員の居住するアパートは会社名義で賃借しており、生活のための必要最低限の家電等は入居前に会社負担で用意している。また、1部屋に2名入居しているため、家賃は入居人数で折半。やむを得なく1名で入居の場合は、会社が1名分を負担している。
- ・体調を崩した際には、社長を始めとする従業員が病院に付き添うようにしている。また、技能実習生については、事故等があった場合に備え、会社で外国人技能実習生総合保険に加入しており、医療費の負担軽減に努めている。
- ・せっかく来日したのだから、日本を楽しんでもらいたく、コミュニケーションは日本語で取るように話している。日本語で交換日記をしていたこともある。

外国人本人の声

- ・日本人は優しく、生活のことや日本語を教えてくれた。また、社長と一緒に買い物行ったり、お酒を飲んだりする。
- ・直属の上長とコミュニケーションを取りたかったのも、必死で日本語を覚えた。

